

メディアセブン ワークショップ公募プログラム

ワークショップアカデミー | 募集要項



主催 メディアセブン

企画 NPO Community Design Council

ワークショップアカデミー事務局（メディアセブン内／担当：氏原）

E-mail : workshop@mediaseven.jp

はじめに

ワークショップはいま、教育やアートだけでなく、演劇やまちづくり、環境や福祉、そして企業研修など、さまざまな分野で数多く行われています。

特定非営利活動法人 Community Design Council (以下、CDC) が企画運営に携わる、映像情報メディアセンター「メディアセブン」(埼玉県川口市、2006年7月1日開館)においても開館以来、ワークショップを

創作や表現の現場に近い環境に身を置き現場の感覚を実感しながら学習する場であり、ある特定のテーマについて新しい発見や発想を促す機会

と考へ、活動の柱のひとつとしてきました。

メディアセブンの活動開始から3年目に入る2008年7月から、ひろくワークショップのアイデアを公募し、その一部をメディアセブンにて実施しながら、施設や企画者、そして参加者という立場をこえてワークショップのかたちを考えるプログラム「ワークショップアカデミー」をはじめています。

本プログラムで応募いただいたアイデアは、そのすべてをウェブおよびメディアセブン内で一般公開し、その一部は応募者自身が中心となつて、メディアセブンスタッフのほか、応募案に応じた専門家を監修者としてむかえ、メディアセブンにて実施します。

メディアセブンでは本プログラムを、ワークショップのアイデアを実現したい方たちに機会を提供するだけにとどまらず、ひろがりをもせるワークショップの諸相をとらえ、そのあり方を考える機会としたいと考えています。

開催概要

ワークショップ公募プログラム「ワークショップアカデミー」

期間 2009年6月1日(月)～2010年3月31日(水)

主催 川口市立映像・情報メディアセンター メディアセブン
埼玉県川口市川口1-1-1 キュポ・ラ7階
tel. 048-227-7622 fax. 048-226-7724
<http://www.mediaseven.jp>

企画 NPO Community Design Council
東京都中野区本町2-51-10 中野坂上OKビル9F
tel. 03-3320-8196 fax. 03-5302-7441
<http://www.cdc.jp/>

事務局 ワorkshopアカデミー事務局(メディアセブン内/担当:氏原)
E-mail. workshop@mediaseven.jp

テーマ

新しい発見や発想がもたらされること

今回応募いただきたいワークショップは、参加者はもとよりファシリテーターにも、そういった経験をもたらすものです。領域は問いません。メディアセブンで、私たちとともに、自分のアイデアを実現したいとつよく思う方をもとめます。

プログラムの流れ

応募案は、ウェブとメディアセブンで公開するとともに、応募者が中心となって、メディアセブンおよびその応募案に適した専門家とともに具体化し、メディアセブンにて実施します。

1. ウェブサイトにて一般公開

応募いただいた企画案は随時、公式サイト上にて公開します。公開の際には応募者の氏名ないしは団体名を明記します。

公式サイト：http://www.cdc.jp/workshop_academy/

* 応募案が公序良俗に反する場合、剽窃の疑いのある場合には公開を見送ります。

2. メディアセブンにて実施

応募案すべてを、メディアセブンスタッフを中心に実施の可能性を検討します。検討に際しては、アイデアの専門性に応じて適宜、適切な専門家の協力を得ておすすめします。

実施の可否は、メディアセブンから応募者に直接連絡をします。実施が決まったものについては、決定から2～3ヶ月後を実施の目処として、随時そのための検討に入ります。その検討プロセスおよび実施の様子は、ウェブ上にてレポートします。

実施にあたっては、メディアセブンスタッフのほか、アイデアに応じてメディアセブンにてコーディネートする専門家が監修者としてサポートにあたるほか、メディアセブンの保有機材と、100,000円を上限として実施に必要な予算を提供します。また、通常メディアセブンで実施するワークショップと同様の広報を行い、参加者をつのります。

*2009年9月から2010年3月末までに4案程度を実施予定

** 交通費は、総額50,000円を上限として別途負担

応募条件

年齢、個人とグループ、プロとアマチュアの違いを問いません。

メディアセブンにおいて、新しい発見と発想を参加者にもたらすようなワークショップを実現したいとつよ思う方をひろくもとめます。

応募案について

応募いただくアイデアは、参加者ならびにファシリテーターに新しい発見や発想がもたらされるものであれば、領域や形式は問いません。

ただし、原則としてメディアセブン内ワークスタジオ B にて実施するため、応募案は当該スペースの物理的条件に合致するとともに、その使用ガイドラインに沿う必要があります。

* 屋外が活動の中心となるワークショップはのかぎりではありません。

応募方法

以下の2点をメールに添付してお送りください。

1. **エントリーフォーム**：所定のファイルに必要事項を記入
 2. **企画書**：ワークショップのねらい、参加対象、活動概要がわかるもの
- 応募先アドレス：workshop@mediaseven.jp**

エントリーフォームについて

下記よりダウンロードしたファイルに必要事項をすべて記入ください。

excel 形式：http://www.cdc.jp/workshop_academy/ws-academy_entry.xls/

pdf 形式：http://www.cdc.jp/workshop_academy/ws-academy_entry.pdf/

企画書について

企画書には、ワークショップのねらいや参加対象、活動概要を説明いただくほか、実施の体制や具体的な活動プログラム、必要機材の一覧、そして予算書を添付いただくことが望ましいです。他所で実施したことのあるものに関しては、その際の様子をレポートいただいても結構です。

なお、企画書のレイアウトは A4 縦を基本とします。枚数は問いませんが、形式は word 形式ないしは pdf 形式とし、ファイルサイズは 5MB までとします。

必要に応じて配置されるイラストレーションや写真、図表は、他者の著作権などの権利を事前にクリアしておいてください。

* 企画書は公式サイト内のサンプルもご参照ください。

** 応募にかかる費用いっさいは応募者の負担となります。

著作権

応募いただいた企画書にまつわる著作権は、原則として応募者に帰属します。メディアセブンにて実施したのも同様です。なお、ここでいう著作権は紙や電磁的媒体に帰属します。

いずれの企画書につきましても、CDCは、応募者に対して無償で、応募案を保存・記録し、展示・図録等での公表を行う権利を有します。

企画書内に第三者が権利を有する著作物を使用する場合は、応募者本人が権利保有者の許可を得てください。企画書において、著作権侵害や著作隣接権侵害の問題などが発生した場合は、その作品の公開および実施を取り消す場合があります。

プライバシーポリシー

事務局では、個人情報の尊重と保護に努めています。以下のプライバシーポリシーは、事務局の個人情報に対する考え方と取り扱いについての方針を示したものです。応募および問合せの際に個人情報を入力することによって、以下のプライバシーポリシーに同意するものとします。

1. 情報の収集

事務局における個人情報の収集は、ワークショップアカデミーに応募するために必要な情報にかぎって行います。応募時に必要な情報以外は収集いたしません。

2. 個人情報の開示

応募案の公開において開示する個人情報は、応募時に表記いただいた氏名・団体名のかぎりとなります。事務局は、応募者本人の許可がない限り、個人と団体を特定できる情報を、本企画の関係者以外に開示することはありません。

ただし、法令の規定による場合、関係者ならびに公共の権利・財産・安全等の保護に必要な場合は例外とします。

お問合せ先

メディアセブン内 ワorkshopアカデミー事務局 (担当：氏原)

E-mail : workshop@mediaseven.jp

メディアセブンとは

メディアセブンは、2006年7月1日に埼玉県川口市にオープンした公共文化施設です。地域の文化、歴史、産業、芸術など様々な分野と連携しながら、総合的に学び、探求する新しいタイプの「学びの場」です。ここで行われた講座、講演会などの情報や、活動によって得られた知識や経験を収集・管理・保管・提供し、さらにこれを市民（利用者）が共有する「場」をデザインすることにより、文化を創造していきます。

また、資料や活動に関する情報、他の関連施設を互いに連携させ、市民、スタッフ、講師などが、感想や意見を交すことのできるネット上の「場」も提供して行きます。

人と人が結びつき、協力して何かが成し遂げられる「協働性」の大切さを見直し、市民相互の結びつきの質によってもたらされる学習や活動、解決された問題などが、当センターの活動として評価されるべきものであると考えます。

当センターには、完成形はありません。地域の文化活動拠点として、人と人の結びつきの「場」をデザインしそれを実現して運用し続ける仕組みを維持しながら、社会の変化、映像・情報機器の進展を考慮し、常にサービスを見直し、発展していく施設です

メディアセブン Media Seven

埼玉県川口市川口 1-1-1 キュポ・ラ本館棟 7 階

tel. 048-227-7622 fax. 048-226-7724

<http://www.mediaseven.jp/>

NPO Community Design Council とは

Community Design Council は、芸術・文化・学術・教育などの公共性の高い事業をおこなう組織や団体に向けて、交流促進支援事業やイベント開催事業をおこなう NPO(特定非営利活動法人)です。行政区分やコミュニティの利害を超えた人材活用ネットワークの構築や IT スキル、デザインなどさまざまなノウハウの移転をめざしています。

メディアセブンの開館以来、企画運営を川口市より委託され、2009年4月からは同館の指定管理者として選任されています。

NPO Community Design Council

東京都中野区本町 2-51-10 中野坂上 OK ビル 9F

tel. 03-3320-8196 fax. 03-5302-7441

<http://www.cdc.jp/>

ワークスタジオ B の使用にあたって

ワークスタジオ B 仕様

- ・面積：約 144 平米 (約 16m×約 9m)
- ・天井高：約 4m
- ・床仕上：タイルカーペット
- ・北側全面ガラス張り
- ・南側全面マルチガラススクリーン張り
- ・利用可能時間：平日 10:00-21:00 / 土日祝：9:00-18:00

* マルチガラススクリーン仕様は http://www.figla.co.jp/jp/products/glass/mgss/mgss_top.htm を参照ください。

ワークスタジオ B 設備

- ・机 (幅 160cm、奥行 80cm、高さ 70cm)：10 台
- ・イス：27 台

* その他の使用可能機材は別添をご確認ください。

使用上の注意点

- ・完全に暗転することはできません
- ・釘、ピンなどによる壁・床の工作はできません (ただし、原状復帰を条件としたテープ類での工作は可能)
- ・施設および設備はすべて使用以前の状態に復帰します
- ・原則、以下のことを禁止します
 - 飲食 (ただし、フタのできる飲料は例外)
 - 過度に大きな声や音を出すこと
 - 重量のあるものを天井から吊り下げること
 - 施設の付帯設備を汚損ならびに破損させる可能性のあること
 - 火器類を用いること
 - 液体を用いること (絵の具を用いる場合は養生シートをすれば使用可)
 - 劇薬を用いること
 - 動物の持ち込むこと (介助犬は例外)
 - 国内の法律および公序良俗に反すること
 - そのほか施設運営に支障があると認められること

保有機材リスト

ワークスタジオ B にて使用できるメディアセブン保有機材は以下のとおりです。

機 材	個数	備 考
ノートパソコン	22	DELL Inspiron 9400 (Windows XP)
ノートパソコン	2	DELL Inspiron 9400 (Windows Vista)
インクジェットプリンター	2	Canon PIXUS iX5000 Canon PIXUS iX4200
43 型プラズマディスプレイ	3	PIONEER PDP-436P
組立式 80 インチスクリーン	2	EPSON ELPSC08
至近投影プロジェクタ	2	NEC WT615J
ポータブルプロジェクタ	2	Panasonic TH-LB20NT (2000lm)
簡易 PA 環境	2	audio-technica ATW-SP77
PA セット	2	Behringer Europower Pack3 PMH-1000 (12ch パワードミキサー) ×1 EUROLIVE B1220 (300W スピーカ+スタンド) ×2 XM1800S (ダイナミックマイク) ×3

* ノートパソコンには、Office2003 Personal、Photoshop、Illustrator、Edius 3 for HDV をインストール

**43 型プラズマディスプレイは DVD プレイヤー一体型ビデオつき